

(原文)

駐日アメリカ合衆国大使館  
特命全権大使  
ジョン・V・ルース 閣下

### 臨界前核実験に対する抗議について

千葉県佐倉市は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を制定し、平和都市を宣言しております。

こうした中、貴国が本年12月5日にネバダ州において臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

被爆者を始め核兵器廃絶を願う世界の多数の市民は、オバマ大統領の、「核兵器のない世界」を目指すという姿勢に大きな期待を寄せてきました。

しかるに、昨年2月の臨界前核実験に引き続き、今回、新たに実験が行われたことは、核兵器廃絶を願う世界の多数の市民の期待や願いを裏切るものであり、誠に残念でなりません。

今回の実験は、貴国が今後も核兵器を持ち続け、新たな核兵器の開発にも繋がる恐れのある行為であり、オバマ大統領が批准を目指す包括的核実験禁止条約の精神に反するものです。

佐倉市は、今回の臨界前核実験に厳重に抗議します。

貴国におかれましては、誠実に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けて努力されることを強く求めます。

2012年12月10日

佐倉市長 蕨 和雄